

本日ここに、平成24年松本市議会第1回臨時会を招集いたしましたところ、議員の皆様方には、おそろいでご出席をいただき、厚く御礼を申し上げます。

さて去る3月13日、柿澤議長を始め、多くの議員の皆様、並びに市民の皆様のお出迎えをいただく中、改めて職責の重さを覚えながら、新たな気持ちで3期目の初登庁をいたしました。

このたびの市長選挙につきましては、ご承知のとおり、私自身、立候補するに当たり、大変悩んだ末の決断であった訳でございますが、これまでの2期8年の市政運営を市民の皆様はどう評価いただけるのか、信任を仰ぎたいという一念でございました。

率直に申しあげて、無投票という形で選挙戦にならなかったことは、残念なことであったと思っております。

ただ、ほかに立候補者がいなかったということは、社会、経済、政治全般に閉塞感が漂い、沈滞感があるとは思いますが、私自身は、「3Kプラン」を始め、「健康寿命延伸都市・松本」の創造を掲げ、議会を始め市民の皆様とともに取り組んでまいりました2期8年にわたる私の市政運営が、一定の評価をいただけたものと考えております。

そこで3期目の市政運営に当たりましては、これまでの重要施策をより具体化すべく、発展的に継承する中で、マンネリに陥らない、より新たな視点を持って、20年、30年先を見据え、引き続き持続可能なまちづくりを進めてまいる所存でございます。

なお、3期目の市政運営に当たっての所信につきましては、政策的予算をお願いいたします6月定例会におきまして、改めて申し述べさせていただくこととし、この際、本市が抱えております懸案事項等について、若干申しあげたいと存じます。

まず初めに、「九州戦略」に関連して申し上げます。

私は、昨年2度にわたり、信州まつもと空港の活性化を図るための九州戦略の一環として、自ら鹿児島市に赴き、トップセールスを行ったところでございます。

もり ひろゆき

特に10月の訪問の際、森 博幸鹿児島市長との懇談の中では、鹿児島市と松本市の両市民との交流を図る取組みができればとのお話しをさせていただき、森鹿児島市長から前向きなお返事をいただきましたことから、その後「交流都市協定」の締結も視野に入れながら、事務レベルでの具体的な検討を進めてまいりました。

こうした状況の中、4月6日には、鹿児島市長の松本市への訪問が実現いたしました。

森市長には、松本の魅力をご自身の目で見て、肌で感じていただけたものと思っておりますが、私との懇談の中で、「距離が遠いと感じていたが、大変近かった。」との感想をいただきました。

鹿児島市における「松本市」の知名度は、必ずしも高くないことは認識しておりますが、鹿児島市長と私とが、お互いの市を行き来したことで、両市の「絆」がさらに深まったものと感じております。

特に、昨年3月の九州新幹線鹿児島ルートの開通とF D A福岡線利用による松本・鹿児島

間の利便性の向上は、観光面だけではなく、様々な分野において両市の交流推進が期待されるところであります。

そこで今年度につきましても、F D Aの協力を得て昨年度初めて実施した松本と鹿児島  
の両空港を結ぶチャーター便やモニターツアーをより魅力ある企画とした観光面での交流、  
伝統工芸品や農産物など地場産物をP Rする物産面での交流、サイトウ・キネン・フェス  
ティバル松本のスクリーンコンサート開催による文化交流など、鹿児島市との具体的な交  
流の取組みを検討してまいります。

また、4月17日には、坪田副市長と関係職員が熊本市を訪問し、松本山雅F C対ロア  
ッソ熊本戦が行われたスタジアムで、信州まつもと空港と、松本産の農産物、また観光の  
P Rを行いました。

まつきぞの とみお

さらに翌日には、鹿児島市を訪問して松木園 富雄鹿児島市副市長と懇談し、松本山  
雅F Cのキャンプ受入れなど今後の交流について情報交換したとの報告を受けております。

今後は、観光大使である松本山雅F Cの活力を活かしながら、信州まつもと空港の活性  
化に向け、「九州戦略」を引き続き積極的に展開していきたいと考えております。

次に、「防災対策」に関連して申し上げます。

東日本大震災から1年2カ月、昨年の上高地土砂災害及び長野県中部を震源とする地震  
から間もなく1年を迎えます。

この間、相次ぐ余震や原発事故による被害も重なり、国民を始めとして、国、地方自治  
体、防災関係機関など、国をあげて防災対策の見直しが進められており、松本市におきま  
しても、昨年度を新たな防災元年として、備蓄の充実や原子力災害への備えを進めてまい  
ったところでございます。

ご承知のとおり今年度から、危機管理室を部へ格上げし、危機管理部を設け、自然災害  
を始め、事故災害などの危機に対し、より専門的に対応するために組織を充実いたしました。

特に今年度は、東日本大震災や昨年6月の地震などの教訓を踏まえ、原子力災害対策や  
山岳観光地での災害対策などの充実を図るため、地域防災計画の大幅な修正を行う予定で  
あり、修正方針につきましては、改めまして議会にご相談してまいりますので、よろしく  
お願い申し上げます。

また、昨年6月の地震では、市行政から町会組織への情報伝達が大きな課題となりました  
ことより、今年度から3カ年計画で、同報系防災行政無線の整備に着手し、今年度は部  
分的な供用開始を行うこととしており、情報伝達に万全を期してまいります。

さらには、この地で最も懸念される地震への備えといたしまして、国による、牛伏寺断  
層を含む糸魚川－静岡構造線断層帯での地震の発生確率の上昇や、南海トラフ付近で起き  
る巨大地震の震度予測などを踏まえ、松本市の南部地域への震度計の設置のほか、過日、  
信州大学の震動調査グループから提案を受けました長野県中部を震源とする地震及び地盤  
について、共同研究の取組みを進めてまいりたいと考えております。

次に、今年で21回目を迎えます「サイトウ・キネン・フェスティバル松本」について申し上げます。

市民の皆様を始め、多くの皆様が待ち望んでおります今年のサイトウ・キネン・フェスティバル松本公演の概要が、去る11日に発表され、来る8月4日から9月7日まで行われます。

今年のサイトウ・キネン・フェスティバル松本の開催に当たりましては、昨年来体調に不安がありました小澤征爾総監督は、指揮はせず、監督に専念されますが、元気な姿で松本入りし、フェスティバル全体の統括をいただけるものと期待しております。

かけいだいじょう

今年の公演は、地元の大人及び児童合唱団が参加するオペラ「火刑台上のジャンヌ・ダルク」を中心に、オーケストラコンサートなど魅力あふれる18公演が予定されております。

サイトウ・キネン・フェスティバル松本は、国内はもとより世界において、「楽都松本」の魅力や、その存在を高める「松本の宝」でございます。

将来にわたり継続して開催されるよう、今後もしできる限り支えてまいりたいと考えておりますので、議会を始め市民の皆様の一層のご理解を賜りますようお願い申し上げます。

次に、「信州・まつもと大歌舞伎」について申し上げます。

これまで2度にわたり開催してまいりました「信州・まつもと大歌舞伎」が、この夏、2年振りに、7月12日からまつもと市民芸術館で開催されます。

今年の大歌舞伎は、主演は去る2月に6代目を襲名したばかりの中村勘九郎さん、脚本

くどうかんくろう

は若者に絶大な人気を誇る宮藤官九郎さんで、若いエネルギーで溢れる舞台に期待が高まるところでございます。

てんにちぼう

演目の「天日坊」は、幕末以来約150年振りの上演であり、宮藤さん書き下ろしの

くしだかずよし

脚本と串田和美まつもと市民芸術館芸術監督の演出によって、新たな天日坊として一味違う歌舞伎を皆様に存分に楽しんでいただけるものと思います。

これまでの2回の開催を通じて築き上げてまいりました、市民の皆様のご主導による「にぎわいの創出」や「学びの事業」などの関連事業は、「信州・まつもと大歌舞伎」ならではの大きな魅力となっており、市民の皆様方のこれまでの活動に、改めて敬意を表する次第でございます。

今年の大歌舞伎につきましては、私からもお願いしておりましたが、とりわけ次代を担う子どもたちなど若い世代の皆様が、日本の誇る伝統文化に触れる機会となりますよう、大いに期待しております。

それでは、ただいま上程されました議案につきまして、ご説明申し上げます。

本日提案申上げました議案は、条例1件、財産の取得3件のほか、専決処分の報告2件の計6件となっております。

まず始めに、条例につきましては、島内の青島地区並びに空港東北地区におきまして、新たに地区整備計画を定めるとともに、庄内地区における地区整備計画の一部を変更するための条例改正を1件提出しております。

次に、財産の取得につきましては、消防団の消防機械力の維持、向上を図るため、小型動力ポンプ付積載車6台などの取得案件3件を提出しております。

このほか、緊急を要し、地方自治法第179条の規定により専決処分をいたしました地方税法の改正等に伴う市税条例の改正、並びに新松本工業団地用地の処分について、ご報告を申しあげております。

そのほか、議案以外のものといたしましては、市長の専決処分事項の指定にかかわる報告6件を報告いたしております。

以上、本日提案いたしました議案等についてご説明申しあげましたので、よろしくご審議を賜りますようお願い申し上げます。

(以上)